

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティスクール		公表日		
				令和7年 4月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	100%	集合住宅の一室のため、部屋全体の構造が手狭に感じるところがある。カリキュラム毎に部屋を変える工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用者の状況によって差があるが、適宜調整を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0%	100%		集合住宅の一室のため、完全なバリアフリー化にはなっていない。また複数の部屋で活動を行っているので、情報伝達が迅速に出来ない環境になっている。事業所の移転も踏まえて考慮する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	33%	67%	就労継続支援 A 型事業所の利用者様に、毎日清掃をして頂いている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	33%	67%	決まった個別の部屋は用意されていないが、必要に応じて区切られた部屋や廊下を利用するなど工夫をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%	職員ミーティングを開催し、業務の方向性について話し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ハード面での改善が困難な場合を除き、意向等を把握して業務の改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員ミーティングで意見を把握し、業務の改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	外部評価を受ける機会がほぼないが、客観的な意見を反映できるように対応、改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修の機会が多く、自由に受けることのできる環境が整っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページに公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	83%	17%	半年に一回の面談の機会や日々のコミュニケーションの中で、こどもと保護者様のニーズを分析した上で、個別支援計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	現場の職員がこどもに対してアセスメントを行い、児童発達支援管理責任者が保護者様のニーズを分析し、支援に関わる職員が共通理解の下で、計画の検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	40%	60%	全ての職員が計画書の内容を熟知しているとは言えないが、状況に適した支援を行う工夫をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	標準化された分析や評価だけではなく、日々の行動など、現場の職員が支援中に適切な分析、評価することにより、包括的に状況を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個別支援計画書はガイドラインに沿った形で、こどもの支援に必要な項目を設定して、具体的な支援内容にしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	学習以外の課外活動は委員会を設置して、企画立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17%	83%	課外活動の機会を設ける工夫をしている。	発表会に向けたダンスカリキュラムは徐々に参加者が増えているが、季節ごとの課外活動など参加率が低い活動もあるので、魅力的なプログラムを立案していきたい。

快	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	33%	67%	学習に特化している事業所のため個別活動のニーズに 応えているが、帰りの会や課外活動を通じて、集団活動の 支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	前日までに職員配置を決定し、当日は職員間でミーテ ィングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	送迎後、終業となっている為、当日中に振り返りの機会 を設けることは少ないが、気づきの共有や、翌日の職員 ミーティングで周知、改善案を話し合う機会を設けてい る。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	100%	0%	学習内容の記録を取っている。活動中に気が付いたこと は、支援後に共有をして、改善案を話し合う機会を設け ている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一回のモニタリングで計画の見直しを行い、内容 を適宜変更している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	ガイドラインに沿った形で、個別学習とパソコン学習を 中心に組み合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	その日の学習の目標をこどもと話し合い、自己決定を育 み、達成する喜びを感じ取れるような支援を行ってい る。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者も積極的に支援に携わることで状況をよく理解し ている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0%	100%	教育機関、相談支援事業所と連携を取り、アセスメント をする機会がある。	医療機関との連携は事例がないが、速やかに連携を取れ る体制作りをしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	100%	0%	学校や保護者様それぞれと連携を取りながら確認を行っ ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	事例は無いが、状況の共有を行う体制を整えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	67%	33%	事例は無いが、状況の共有を行う体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%	専門機関との連携や助言を受ける機会が多くあるので支 援に活用している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	67%	33%	ダンス発表会を通じて、ダンス教室に通うこどもとの交 流を図っている。また野外フェスなどのイベントでは一 般の方との交流の機会も設けている。	野外イベントの開催など、地域の他のこどもと交流をす る機会はあるが、こどもたちの成長に繋がるため、より 多くの機会を提供していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		自立支援協議会に参加しているグループ内の事業所から 内容の共有は出来ている。今後は事業所から参加の機会 を得ていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	主に送迎時、様子を共有して、お困りごとやご意見を把 握している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	33%	67%		保護者交流会の機会を設けているが、本格的なペアレン ト・トレーニングには至っていないので、今後はご家族 様も参加できる研修の機会を提供していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	100%	0%	管理者より契約時に一通りの説明の機会を設けている。 利用開始後も疑問や相談にその都度対応をさせて頂いて いる。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	契約時にヒアリングをして、こどもやご家族の意向を確 認し、個別支援計画書の作成を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画書の内容を示しながら保護者様に説明を行い、同意 を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご家族から相談を受けた場合は、都度面談を行い必要な 助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	保護者交流会の機会や野外イベントを開催することで交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情に対する窓口を設置し、意見の吸い上げに努めている。また、事業所に直接言いにくい案件に関しては第三者委員会を設けることで風通しの良い環境づくりに努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	グループ全体でのお便りは毎月発行され、保護者様との連絡ツール内で公開されている。	事業所単体での広報ツール作成も検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報には鍵付きの書庫にて管理徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	33%	67%	お便りやLINE等のツールを使用して、振り返りが出来るように工夫を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	大規模なフェスイベントを開催し、保護者様だけでなく地域の企業様や住人の方にも参加いただくことが出来ている。今後も定期的に開催を予定している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17%	83%		各種マニュアルを教室内に掲示しているが保護者様への周知徹底には至っていない。安心して通所して頂くためにも、保護者会などを通じて知って頂く機会を作っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年2回の地震・火災を想定した避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17%	83%		服薬については職員全員が正確に把握が出来ていないので、ご家庭との連携を図っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時にアレルギーの有無に関して聞き取りを徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	33%	67%	集合住宅の一室のため死角が発生しているが、安全管理研修を年2回開催して、安全管理を十分にした中で支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17%	83%		ご家族には一時的な身体拘束の同意書に署名を頂いているが、安全計画に基づく取り組みについて周知徹底には至っていないので、保護者会を通じて知って頂く機会を作っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	報告書を作成した上で、再発防止に向けた職員間のミーティングを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	支援に関わる者は必須の研修として受講しており、高い意識を持って支援に取り組んでいる。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束の事例はないが、管理者より契約時もしくは個別モニタリングの際、事前に説明し了承を得た上で、個別支援計画書を作成するスキームが整っている。	